

工事常識 材料の研究と着眼点

建築材料見積の研究 (6)

林 有 一

米材の解説愈々詳細になつて來ました、我國の土木建築工事を左右しつゝあると言ふても可い程な米材である、それは如何な處から如何にして出て來るか。(編者)

あらゆる我國の工事界にデリケートな關係を有するところの米材は一體 ざん なものか。

北米合衆國ポートランドを中心としたコロロンビヤ河附近ブレース・ハーバー。ウイラバハーバー。クース・ベア。ビユーゼットサウンド。ヴァンクーバー等の主要積出地から横濱、神戸、名古屋、大阪の四港に輸入されて全國的に供給される米材のうち

【米松】 は一般にドグラスファーと稱せられ、現在北米全土に亘る蓄積量六千億ボード呎、即ち五百億石に達すと稱せられる、(ボード呎はボードメデュアの單位で12吋×12吋×1吋即ち144立方吋である) 木質は程よき硬度を有し、他材に比して持久性に富み樹脂が多い色は麥蘗色乃至薄赤色である。我國産赤松と比較して抗力及び硬度の點は劣り、横歴に對しては半分に過ぎない。

【米樺】 は一般にヘムロックと稱せられ主として太平洋岸に繁茂し木質は軟質であるが、割合に丈夫で、木目は垂直、樹脂は殆んどない、色は米松よりも白いが、破斷抗力は米松よりも弱い。

【米杉】 は普通レッドシダーと呼ばれ、主要産地はこれまた太平洋沿岸地方で、蓄積量コロロンビヤ州七百七十億ボード呎、ワシントン州四百八十億同、オレゴン州百五十億同、木

質は軟質で、木目は垂直、工作容易である色美しく米松、米樺よりも強い。

抗力に於ても硬度に於ても國産杉材より優るが挽材後木目が明白に現はれず、光澤もない殊に年を経るに従つて、次第に黒褐色に變じて挽材當時の美しい色彩を失つて仕舞ふ。

【米檜】 は普通ホワイト・シダーと稱し、僅かにオレゴン州のみの産出で、蓄積量も二十億ボード呎に過ぎない。木質硬く木目細密にして、加工容易、淡黄色で強烈なバラに似た香がある、たゞ光澤がなく割合に裂け易いのが缺點である。

シャートルから北二十哩の地に、エベレットといふ町がある、木材輸出港として第一位を占むるグレース・ハーバーと相對した至つてじみな町だが、木材産地としては最も古くから發達してゐる。こゝにウエイヤ・ハウザー・コムパニーといふ製材所があつて、この主人公ウエイヤハウザーは

【木材王】 としてカーネギー鋼鐵王やフォード自動車王と並べ稱せられる人であるが、西海岸開拓の當時、彼れは早くも鐵道と山林に着眼したのであつた。鐵道敷設に成功した彼は、其代償としてその當時無價値と信じられて居た山林を殆んど無代で政府から拂下けを受けたのを始めてとし、未開の森林らしい森林は悉く掌中に收め今は米國私有山林の七